

資料



QGIS



ArcMap



用語の内容

用語	マニュアルでの内容
ArcGIS	ESRI社のGIS。
ArcToolbox	ArcGISで様々なデータ処理のツールがある場所。
意向調査	市町村が経営管理権集積計画を定める場合に、経営管理権集積計画の対象となる森林の森林所有者に対して行う当該森林の経営管理の意向に関する調査（法第5条）。
インポート	読み込むこと。例えば、タブレット端末に境界推測図を表示するため、境界推測図のデータをタブレット端末に入れること。
QGIS	OSGeo財団が開発し公開している、自由に使える無料のGISソフトウェア。
境界情報	地番や境界区画などの所有者境界を有する情報があるデータ。例えば、林地台帳地図データ、地籍図、公図、森林計画図の施業番号（森林簿と結合）。
境界推測図	境界に関する既存の情報をGIS上で統合的に処理して作成した、森林の所有者境界を表す図面。
空間情報	地物の形状と地物の位置に関する情報。
GoogleEarthPro	Googleが提供するサービス。GoogleEarthを高機能化したもの。
空中写真	測量を目的として航空機から国土を撮影した画像。オルソ画像。長野県には、地域森林計画対象森林の民有林を航空機から撮影したデジタル写真（加工していない単写真）があり、デジタル写真を正斜変換して図郭単位に結合させた簡易オルソが整備されている。地上解像度は40cm以内であり、樹種判読が可能。この簡易オルソを空中写真とし、ドローンで撮影してオルソ化した画像も含む。
経営管理権	地域森林計画の対象となる森林について森林所有者が行うべき自然的経済的社会的諸条件に応じた経営又は管理を市町村が行うため、当該森林所有者の委託を受けて立木の伐採及び木材の販売、造林並びに保育（以下「伐採等」という。）（木材の販売による収益（以下「販売収益」という。）を収受するとともに、販売収益から伐採等に要する経費を控除してなお利益がある場合にその一部を森林所有者に支払うことを含む。）を実施するための権利（法第2条第4項）。
経営管理集積計画	市町村が経営管理権を当該市町村に集積することが必要かつ適当と認める場合に定める計画（法第4条）。
KLM形式	地図データで使用されるデータ形式の一つ。Keyhole Markup Language [KML]。
結合	結び付けること。マニュアルでは、シェープファイルに情報を結び付けて参照すること。
公図	公図（地図に準ずる図面）、ただし林地台帳地図の公図は地籍図（14条地図）と地図に準ずる図面を含む。
コントロールポイント	ジオリファレンスのときに位置を合わせる場所のこと。
座標参照系（CRS）	地理座標系と投影座標系の組み合わせ。地理座標系とは、地球という楕円体における位置の表現規則の取り決め。楕円体の定義と楕円体と地球の重ね合わせ方の違いにより、様々な地理座標系が存在する（例えば、WGS84測地系や日本測地系（JGD）2000）。投影座標系とは、3次元である地球を2次元の平面に投影し、XY座標で表現する座標系。用いる投影法や設定する原点の違いにより、様々な投影座標系が存在する（例えば、平面直角座標系やUTM座標系）。
GNSS	GNSS(Global Navigation Satellite System / 全球測位衛星システム)は、米国のGPS、日本の準天頂衛星（QZSS）、ロシアのGLONASS、欧州連合のGalileo等の衛星測位システムの総称。
GIS	地理情報を取り扱う地理情報システム（GIS：Geographic Information System）。
csv	カンマで区切られたテキストファイル。
CS立体図	長野県林業総合センターで開発した立体図法。この図法では谷（凹）地形を青色、尾根（凸）を赤色で、緩斜面を淡い色、急斜面を濃い色で段彩化してあり、これらの情報を視覚的情報から直感的に読み取ることができる図。
シェープファイル	Esri社の提唱したベクトル形式の業界標準フォーマット。Esri製品はもちろん、多くのGISソフトウェアで利用が可能。

用語	マニュアルでの内容
ジオティフ	位置情報のあるTIFF形式のラスターデータ。
ジオリファレンス	座標が定義（付与）されていないラスターデータに座標を付与する機能。
所有者レベル	集積計画対象森林の個々の森林の境界（所有界）。
森林計画図	森林計画図は、地域森林計画書の附属図であり、森林基本図に地域森林計画の対象となる森林の区域及び区画を記した縮尺 5,000分の1の図で、林班、小班、施業番号がある。
森林簿	林況や地況などの性質を記録した公式の帳簿。森林情報に関する最も基本的な台帳。
推測根拠	境界であると判断した根拠
スキャニング画像	画像を走査したもの。例えば紙媒体の公図をデジタル化した画像。
スタイル	表現すること。例えば、GISに追加したレイヤの線の色や幅や種類を設定すること。
ストレージロケーション	データファイルなどの保存先。
施業区域レベル	集積計画対象森林の外縁の境界（施業界）。
線分データ	中間に端点を持たない線分。
属性情報	個々の地物に備わる固有の性質。地物に対する情報。
属性テーブル	地物の属性情報を表形式で管理する場所。
タップ	突くこと。例えば、タッチパネルの液晶画面で指やペンで突く動作のこと。
地図（マップ）アプリ	位置情報が取得できるアプリケーション。
地籍図	地籍調査の成果として作成された地図。
地番図	長野県が林地台帳原案作成のときに、市町村から提供を受けた地番界を示す図面（課税台帳附属図面など）。
地表の特徴	CS立体図や空中写真から判読できる地表の特徴。特徴的な地形（例えば、道路や河川、尾根、谷、明瞭な起伏、耕作地など）。土地利用（森林、田畑、建物や構造物など）や土地被覆（森林や岩）の境目（林相境など）
地物	広義：地球上に存在する事物や事象。例えば事物は建物や道、事象は山や川。 狭義：GIS操作を説明する際に、ベクタデータの個々の図形（データ）を参照する用語として「地物（またはフィーチャ）」に使用。
地理	地球上に存在する事物や事象の状態。
地理情報	地理（地球上に存在する事物や事象の状態）に関する情報。
ディゾルブ	1つのレイヤの中に存在する複数のデータを1つにすること。
DEM	数値標高モデル（Digital Elevation Model）。地表面を等間隔の正方形に区切り、それぞれの正方形に中心点の標高値を持たせたデータ。
ドラッグアンドドロップ	データをマウスでボタンを押しながら（ドラッグ）移動して離す（ドロップ）こと。
ネットワーク型RTK（VRS）	測位方法の一つ。位置情報サービス事業者が国土地理院の基準点から求めた補正データ（位相差）を通信回線から受信し測位を行う方式で、精度は若干落ちるが基準局の設置が不要となり、今後の活用が期待されている。
背景情報	CS立体図や空中写真など。地表の特徴が読み取れるデータ。
バッファ	図形（点、面、線）から特定の距離の範囲
フィーチャ	個々の地物をベクタデータ化したもの（データ）。
フィールド	属性テーブルの列。
Fixed	位置情報サービス事業者が国土地理院の基準点から求めた補正データ（位相差）を通信回線から受信し測位を行う方式で、補正したデータを受信できた状態。
古い空中写真	国土地理院webから入手できる過去の写真。
Float	位置情報サービス事業者が国土地理院の基準点から求めた補正データ（位相差）を通信回線から受信し測位を行う方式で補正したデータを受信できなかった状態。
ベースレイヤ	境界推測図のひな形。境界推測図の基となるデータ。
ベクタデータ	地理情報のうち、形状を点（ポイント）、線（ライン）、多角形（ポリゴン）で表し、位置を図形を構成する頂点の座標で表現したもの。

用語	マニュアルでの内容
ポリゴンデータ	ベクタデータのうち、形状が多角形（面）のもの。
マップ	レイヤを重ね合わせたもの。
マップドキュメント/プロジェクト	GISで設定した参照データや地図の表示設定を保存するファイル。
ラインデータ	ベクタデータのうち、形状が線のもの。
ラスターデータ	写真などの画像データに代表される、格子状（グリッド）に並んだ区画（セル、ピクセル）の集合体で表した情報。各セルの位置情報は、基準点から何行何列目の位置にあるといった形で表現されている。
ラベリング	ベクタレイヤの属性情報を表示させること。
林相	森林の大まかな外観を区別し表現する用語。林相には構成樹種、樹高、樹冠疎密度、樹冠の高さの均一さなどがある。
林地台帳	地域森林計画の対象となっている民有林について、一筆の森林ごとに、その森林の土地の所有者等を記載した台帳（森林法第191条の4）
林地台帳地図	林地台帳地図データで作成した図面。
林地台帳地図データ	林地台帳地図の図形データ（shape形式）。
林分密度	林分における立木の混み具合。
レイヤ	地物や事象を管理・表現するために主題ごとに分類した「層」を意味する。
ワールドファイル	ラスターデータに位置情報を付与するためファイル。ラスターデータのなかには位置情報がないデータ（例えば、古い空中写真など）もあり、このようなデータに位置情報を付与するためのファイル。